THE ROTARY CLUB OF TAKATSUKI　国際ロータリー　第２６６０地区

高槻ロータリークラブ
2022～2023
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

Ⅰ真実かどうか

Ⅱみんなに公平か

Ⅲ好意と友情を深めるか

Ⅳみんなのためになるかどうか

事務所　〒569-1116　高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
TEL　072-683-1158　　FAX　072-683-1174
URL　　http://www.takatsukirc.org/
E-mail　takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
例会日　毎週水曜日　12:30～13:30
例会場　高槻阪急 6 階 多目的ホール　TEL　072-684-5379
創　立　1954 年 6 月 15 日
会長 石田佳弘　**幹事** 長山正剛　**クラブ運営委員長** 山室匡史　**会報担当副委員長** 松下浩章

No.17　　2022 年 11 月 2 日　発行

11 月はロータリー財団月間

第 3295 回　本日（11/2）の例会

◎　国歌・・・・君が代
◎　ソング・・・奉仕の理想
◎　誕生、結婚、入会記念月御祝
◎　創業記念月御祝
◎　卓話　　藤田　貴子君
　　「　東京旅行記　」
◎　例会後の行事
　　11 月度定例理事会

第 3296 回　次週（11/9）の例会

◎　ソング・・・四つのテスト
◎　地区大会実行委員会報告
◎　外部卓話　　高槻市長　濱田　剛史様
◎　例会後の行事
　　指名委員会

先週（10/26）の例会から

◎ゲスト・ビジター　　計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席
46　名	31　名	72.09　%
前々回例会補正後出席率　97.83　%		
但し、　Mup　4　名　欠席者　1　名		
出席規定摘用免除有資格者　0　名		

R財団表彰

浜田　厚男君
第 5 回　マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

11 月度　記念月御祝

◎　誕生記念
川面　智義君　　西本恵美子君
浜田　厚男君　　齋藤　良輔君
山田　裕介君

◎　結婚記念
浜田　厚男・寿絵御夫妻　　34 周年
三井　泰之・　忍御夫妻　　34 周年

◎入会記念
光本　智輝君　　6 周年

11 月度　創業記念月御祝

藤松　功治君　マス星自動車㈱
S. 38. 11　　59 周年

江澤　　由君　㈱装英
S. 43. 11. 18　　54 周年

井前　憲司君　井前工業㈱
S. 45. 11　　52 周年

赤羽　　卓君　三井住友信託銀行㈱
S. 47. 11. 20　　50 周年

伊藤　智秋君　㈱エス・ジー
H. 3. 11. 7　　31 周年

松尾　　浩君　㈱セラフィー
H. 4. 11. 30　　30 周年

イマジンロータリー

ジェニファー・ジョーンズ　RI 会長

◎会長の時間

こんにちは
会長の時間をさせて頂きます。
地区大会のお願いですがあとわずか 2 か月を切りました。
地区大会実行委員会の浜田実行委員長や藤井副実行委員長、河合幹事や地区幹事団を中心にあと詳細を煮詰めております。
また、いよいよ本番前のリハーサルが 11/5 日(土)に開催されます。
皆様のご協力が無ければ成功に導けません。
今しばらくご協力よろしくお願い致します。
また、ポリオ根絶チャリティーゴルフ大会の件ですが 11 月 23 日（祝・水）にご参加くださいますようお願い致します。
これはポリオ根絶のためのチャリティーゴルフでもあります。
一人でも多くの参加が必要となります。
またゴルフにご参加されない会員様も 18 時からの懇親会に是非ともご参加いただきたいと思います。併せて宜しくお願い致します。

国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は、9 月 24 日に開催されたグローバルシチズン・フェスティバルのメインステージに登場し、ポリオ根絶に対するロータリーの取り組みを紹介するとともに、根絶に向けてさらに 1 億 5,000 万米ドルを投入することを発表しました。
ニューヨークで 6 万人、インターネットやテレビで数万人を前に講演したジョーンズ会長は、最近ニューヨーク州知事が、同地域でのポリオ再発を受けて非常事態宣言を出したことに言及しました。
ジョーンズ会長は、ポリオ（急性灰白髄炎）はワクチンで予防できること、そして野生型ポリオウイルスによる感染はアフガニスタンとパキスタンの 2 カ国のみで起きていることを強調しました。
RI 会長はまた、コロナ禍によって一部の国でポリオの予防接種が中断された影響について話しました。
2021 年には、約 2,500 万人の子どもたちが、欠かすことのできない予防接種を受けられなかったことを指摘。
「世界はこの疾病を大幅に撃退してきましたが、さらに努力を重ねる必要があります」と会長は述べました。
ジョーンズ会長が発表した追加資金は、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）に充てられます。
ロータリー会員は、30 年以上にわたり、ポリオ根絶のための世界的活動の中心的存在となってきましたが、このことがあまり認知されていません。
宮里ガバナーもこのことを懸念されています。
当時、125 カ国以上で 1 年間に推定 35 万件のポリオ感染があった中、ロータリーは 1985 年にポリオプラスを立ち上げ、1988 年には世界ポリオ根絶推進活動の設立を支援しました。
それ以来、ポリオの発症数は99.9%以上減少し、2,000 万人以上が身体まひから救われたとされています。
ロータリーは、約 30 億人の子どもたちにポリオの予防接種を行い、世界のポリオ根絶活動に 26 億米ドル以上を寄付し、支援国からの 100 億米ドル以上の資金確保に貢献してきたのです。
ジョーンズ会長は「世界市民の皆さま、10 月に開催される世界保健サミットで、ポリオ根絶へのコミットメントを、政府や企業、その他のリーダーに呼びかける手助けをお願いします」と。
昨年、フランスのパリで開催されたイベントでは、ジョーンズ会長が、持続可能なプロジェクトのために 9,700 万ドルの誓約を発表しました。

ポリオは、ポリオウイルスの感染によって起きる急性の麻痺性疾患です。
主に 5 歳以下の小児が発症し、日本では「小児麻痺」とも呼ばれています。
ヒトだけに感染しポリオウイルスには 1 型、2 型、3 型の 3 つの型があります。どの型でも同じ症状を起こします。
ポリオウイルスで汚染された水などがヒトの口に入り、腸の中で増殖して全身に感染します。
さらに、感染者の腸で増えたウイルスが便に排出され下水に流入します。
上下水道が整備されていないなど衛生状態が悪い場合に、下水に流入したウイルスは再び他のヒトの口に入り、感染が拡大します。
感染者の 90%以上は不顕性感染と言って症状が出ません。
しかし感染者の 4-8%で、ウイルスが腸や咽頭で増殖し、発熱、頭痛、咽頭痛、嘔吐などの風邪の様な症状を生じます。
感染者のごく一部（0.1-2%）で、6-20 日の潜伏期間を経て、ウイルスが脊髄や脳に入り、腕や脚の急激な麻痺を生じます。
麻痺に至った患者の多くは快復しますが、一部の患者で生涯続く麻痺が残り、重い障害となります。
また、呼吸筋の麻痺などで死亡することもあり、致死率は小児で 2-5%、成人で 15-30%に達します。
ウイルスに対する特異的な治療法はなく、対症療法のみです。
麻痺を快復させる治療法もありません。
しかし有効なワクチンが早くから実用化されており毒性を弱くしたウイルスを口から飲むタイプの経口生ワクチンと、ウイルスの断片を用いた注射タイプの不活化ワクチンの両方があります。
経口生ワクチンは、ポリオウイルス 1、2、3 型のすべての型を含んでおり長年世界的に広く普及し、患者数の激減をもたらしてきました。
ところが、患者数が激減した国・地域では、経口生ワクチンに含まれるウイルスそのものによるポリオ様の麻痺性疾患（vaccine-associated paralytic poliomyelitis; VAPP）が報告されるようになりました。
経口生ワクチン接種者 100 万人あたり数人という極めてまれな副反応ですが、生涯にわたり麻痺が残るため、重大な副反応として問題視されるようになりました。
不活化ワクチンはウイルスを断片化しているため、このような麻痺性の副反応は生じません。
そのため、ポリオ患者が激減または発生しなくなった国・地域では、経口生ワクチンが順次不活化ワクチンへと切り替えられてきました。
日本でも 2012 年に、小児のポリオ予防接種が経口生ワクチンから注射タイプの不活化ワクチンへと切り替わりました。
なお、1975 年（昭和 50 年）から 1977 年（昭和 52 年）の生まれで日本で経口生ワクチンを受けた方々は、その当時のワクチンに含まれていたポリオウイルスの性質により、ポリオに対する免疫が不十分であることが旧・厚生省の調査で判明しました。
1975 年（昭和 50 年）-1977 年（昭和 52 年）生まれの方は、アフガニスタン、パキスタン、及び下記の伝播型ワクチン由来ポリオウイルス（cVDPV）の発生地に渡航する際には、不活化ワクチンによる追加接種を受けることをお勧めするとのことです。

経口生ワクチンに含まれるポリオウイルス（ワクチン株ウイルス）は、接種されたヒトの腸の中で増殖し、一部は便に排出され下水などに流入します。
通常は、このワクチン株ウイルス自体が他のヒトの口に入っても、病気を起こすことはありません。
しかしこのワクチン株ウイルスが下水などの環境の中で長期間循環し続けると、ごく稀に遺伝子変異を起こし、本来のポリオウイルス（野生株ウイルス）のように、ヒトにポリオと同様の麻痺性の病気を起こすようになります。
これを「伝播型ワクチン由来ポリオウイルス（circulating vaccine-derive poliovirus ： cVDPV)」と呼びます。
cVDPV は､ポリオワクチンの接種割合が極端に低下した地域で、ワクチン株ウイルスが下水などで少なくとも 1 年以上にわたって循環し続けた場合に、発生する可能性があることがわかりました。
世界保健機関（ＷＨＯ）は、国際保健規則（ＩＨＲ）に基づく第 32 回緊急委員会を開催し、6 月 24 日付の同委員会声明によれば、現在発出されている公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）の勧告をさらに 3 ヶ月延長することを決定しました。
cVDPV は、2017 年時点で世界の 21 か国で計 24 回の発生が確認されており、総患者数は 760 人にのぼります。
これまでに検出された cVDPV の 90%以上が 2 型ウイルスです。
一方で、野生株ポリオの 2 型ウイルスは、2015 年に世界全体からの根絶が宣言されました。
したがって、現在検出される 2 型ウイルスはすべて、cVDPV のみということになります。
ワクチン株 2 型ウイルスによる新たな cVDPV の発生を防ぐ目的で、2 型を取り除いて 1 型と 3 型だけで作られた経口生ワクチンが、2016 年に各地で導入されました。
委員会はポリオに対する長期にわたる緊急事態の発出に関する懸念を認識していますが、マラウイとモザンビークへのウイルス侵入に代表されるように、依然として重大なリスクがあると結論づけています。
ロータリーとビル＆メリンダ・ゲイツ財団は、1 月 22 日、ポリオ根絶に年間 1 億 5000 万ドルを投入するための長期パートナーシップを継続することを発表しました。
この提携の下、ロータリーは今後 3 年間、毎年 5000 万ドルを拠出することを目標に掲げ、ゲイツ財団がロータリーの拠出金に対して 2 倍額を上乗せすることとなります。
サンディエゴ（米国カリフォルニア）で開催中の 2020 年ロータリー国際協議会で流されたビデオメッセージの中で、ビル・ゲイツ氏は、ロータリーとのパートナーシップを継続する必要があると述べました。
「ポリオ根絶活動において、ゲイツ財団とロータリーとの長年のパートナーシップは不可欠となってきました」とゲイツ氏。
「このため、ロータリーの募金における 2 倍の上乗せを延長することとしました」
さらにゲイツ氏はこう続けました。「ともにポリオ根絶を実現できると信じています」
この資金は、疾病のサーベイランス（監視活動）、技術支援、予防接種活動の運営支援など、ポリオ根絶活動に充てられます。
ロータリーとゲイツ財団のパートナーシップによりこれまで 20 億ドルが生み出されたほか、1985 年にポリオプラス・プログラムが開始されて以来、ロータリアンはボランティアとしてポリオ根絶活動に無数の時間を捧げげてきました。

2021 年の野生株による症例は 6 件となっておりますが、うち一件が非常在国となっておりますが、残念ながら昨年になり常在国 2 ヶ国以外のアフリカマラウイで 1 件確認されてしまいました。
この発症事例はウィルスの遺伝的に常在国から持ち込まれたものと判断されており、アフリカ大陸のポリオフリーには影響は無いとの事ですが、ポリオは根絶させるまですべての国で感染の危険があるという事です。
ポリオ根絶は目前に迫っています。
しかし、今手を緩めるとポリオはたちまち蔓延してしまいます。
2022 年 8/16 まで、野生株 19 人、cVDPV は 229 人となっています。
ロータリアンとしてポリオ根絶活動は非常に重要です。
私の世代は、ポリオの悲惨さを聞いてきました。
ポリオの撲滅があと少しで実現できると知ったとき、私もこの取り組みにぜひ参加したいと思いました。
これほど壮大な目標を達成できる機会はめったにありません。
是非ともご協力宜しくお願い致します。

◎幹事報告

・千里 RC より「創立 50 周年記念演奏会についてのアンケート調査へのご協力のお願い」が届いております。正式なご案内ではなく、おおよその来場者数の把握の為のアンケート調査です。回覧を回しますので、ご協力をお願い致します。
・本日お休みの清水会員から“凛の会写真展”の伝言を預かっています。当クラブからは清水会員、藤井会員、浜田会員、羽根田会員、山室会員の奥様、そして私長山も出展しています。お気遣いいただいた方、またすでにお越しいただいた皆様には感謝いたします。展覧会は本日夕方までとなりますので、まだ観に来られていない会員の皆様、叶うなら例会終了後にでも訪れていただければ幸いです。何卒よろしくお願い致します。
・旅行会社のT-LIFEパートナーズ㈱より「メルボルン国際大会の旅行募集案内」が届いております。後方テーブルに置いております。参加希望の方はご自身でお問い合わせ下さい。宜しくお願い致します。

◎10/12 卓上花

ガーベラ（黄色）
･･･ 優しさ･親しみやすい
スターチス
･･･ 変わらぬ心・上品

◎地区大会実行委員会の委員会例会

◎ニコニコ箱報告

・誕生記念内祝　　石田君（先週入れ忘れました。申し訳ございません。）

本日の合計	￥	5,000-
7/1 よりの累計	￥	728,000-

◎R 財団への寄付（年次）

河合　一人君 ￥10,000-

本日の合計	￥	10,000-
7/1 よりの累計	￥	355,000-
一人当たり平均		$62.15

◎R 財団への寄付（ポリオ）

石田　佳弘君 ￥ 5,000-

本日の合計	￥	5,000-
7/1 よりの累計	￥	43,000-
一人当たり平均		$7.53

◎米山奨学会への寄付

本日の合計	￥	0-
7/1 よりの累計	￥	240,000-
会員より	￥	135,000-
ｸﾗﾌﾞより	￥	105,000-
一人当たり平均	￥	5,714-

◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	￥	0-
7/1 よりの累計	￥	40,000-